

1 本時の目標

身近な消費者問題についてp4cを行うことを通して、多様な価値に気づき、消費者としての自分と社会のつながりを考えることができる。

2 授業展開の骨子(50分×2)

時間	段階	教師と生徒のインストラクション	資料
0	導入	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 社会における消費者問題の存在を捉える <ul style="list-style-type: none"> ・実在する消費者問題との出会い ・問題の概要把握 ▶ 消費者問題について、各自問いを立てる <ul style="list-style-type: none"> ・問題の責任はどこにあるのか ・問題が起こる背景は何か ・問題に対してどう関わるのか など ▶ 学級で対話する問いを決定する <ul style="list-style-type: none"> ・各自が立てた問いを全員で共有し、検討 ・投票により、対話する問いを決定する 	消費者問題の事例 ワークシート1 ワークシート2
30	展開1	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 問いに対する考えをつくる <ul style="list-style-type: none"> ・主張を要約してまとめる ・主張の根拠となることを明らかにする 	ワークシート3
50	展開2	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 各々の主張をも踏まえて対話をする <ul style="list-style-type: none"> ・生徒らのもつ疑問をもとにして、自由に対話を進める ・自分の主張との共通点と相違点を明らかにする ・対話を通して、消費者問題に対する価値をあぶり出していく ・教師は、ファシリテーターとして問いを深めていく ・コミュニティボールを回しながら、対話を進める ・発言者を尊重する(じっくり待つ、否定しない、急かさない)というセーフティを保障する ・思考を深めるためのツールキットを活用する 	ワークシート4
80	展開3	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 対話を終えた段階での自分の考え方をまとめる <ul style="list-style-type: none"> ・対話前との変容を意識してまとめる ・消費者問題への対応をまとめることを通して、消費者としての自分と社会との関わりについて考えをもつ ▶ まとめたことを発表する 	ワークシート5
90	終結	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 消費者とはどのような存在か? <ul style="list-style-type: none"> ・消費行動を通して、社会をつくる ・業者の質を向上させている ・健全な社会を形成する責任をもつ 	ワークシート6
100		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 消費者の行動による、消費者問題改善の例の紹介 ▶ 消費者問題をどのように考えたらよいのか(あなたは消費者問題とどのように向き合いますか?) 	

事例集

授業を進めていく上で重要となる題材の例を示しました。いずれも実際に起こった問題で、中学生にとって身近なものです。このような事例を取り上げることで、自分と社会とのつながりをより意識しやすくなるでしょう。なお、このような事例は、(独)国民生活センター 相談事例/判断事例→https://www.kokusen.go.jp/category/jirei_hanrei.html, (独)国民生活センター 注目情報→<http://www.kokusen.go.jp/mimamori/index.html>などで調べることができます。消費者問題は常に新しい事例が生まれています。学習をする生徒の実態に合わせて適切な事例を選ぶことで、よりリアルに学習を進めることができるでしょう。



事例1 SF 商法 こんな高額商品を買うつもりじゃなかったのに・・・

今日、学校で同じ登校班のA君がこんな話をしていた。
 「前、コンビニのあった空き店にウチのおじいちゃんが毎日出かけていくんだ」
 それを聞いていたBちゃんが「あ、ウチのおばあちゃんもそこに行ってるわ。そこにいくと、卵やパン、お菓子がタダでもらえるらしいの。すごいよね」
 その話をきいた僕はドキッとした。三日前、おじいちゃんと一緒にその店に行ってきたばかりだったからだ。その店には高齢者ばかりが集まり、部屋が一杯になったらカーテンが閉められ、そこから出られないようになっていた。最初は店長が健康についての話とクイズを出し、クイズに正解した人に次々とお菓子や卵やトイレトペーパー、パンなどが景品として配られていた。「ハイ!そこのおじいちゃん!健康で長生きに必要なものは、食事とあと一つなにでしょう?」突然、おじいちゃんが指さされて答えた。「睡眠???」すると店長は「さすが!素晴らしい!おじいちゃんは物知りだ!」と皆の前でおじいちゃんを持ち上げた。おじいちゃんも褒められて嬉しそうだった。すかさず店長は「今日は特別に!磁気マットレスを30万円!・・・格安でお分けします。これ、当然、おじいちゃんなら買うよね、これを買わなきゃ、おじいちゃん、健康になりたくないって事だよ」という皆の前で買うのか買わないのかを答えさせていた。おじいちゃんは「あ、あー」とどっちつかずの返事の仕方をした。すると店長は「おじいちゃんお買い上げ有難う!!長生きしようね!お金はここに振り込んで!」と言っておじいちゃんにさっさとその磁気マットレスと契約書を手渡した。おじいちゃんは(しまった!)って顔をしながらも、すぐに笑ってそれを受け取っていた。家に帰ったら、おじいちゃんは「こんな高い買い物をしてしまった、買うつもりは無かったのに参ったな」とふさぎ込んでしまった。僕はクーリングオフできるんじゃないかと思っているが、本当にこの事でクーリングオフができるのかどうかは自信をもっては言えない。それにおじいちゃんは、「自分が悪いのだから」と言って僕の話聞いてくれなくなってしまった。もしかしたらA君やBちゃんのおじいちゃんやおばあちゃんも、うちのおじいちゃんと同じように欲しくないものを買わされてしまうのかもしれない。どんどん、おじいちゃんのような思いをする高齢者が増えるのだろうか。はたしてこのままでよいのだろうか。

事例2 マルチ商法 10万円を払えば、絶対儲かるといわれたけれど・・・

クラスのC君の高校生のお兄さんからSNSのメッセージで、すごい話があると誘われた。
 放課後、C君の家に呼ばれてその話をお兄ちゃんから聞くことになった。
 C君のお兄ちゃんが「今、欲しいものはないか、かなえない夢はないか」と聞いてきたので、ゲームのソフトや音楽端末が欲しいと伝えた。
 すると、C君のお兄ちゃんは「それ、全部、すぐにかねえられるぞ」といった。
 「どうやって?」と聞いたら、「スマートフォンでクリックをするだけで月に10万円稼げる方法がある」と言ってきた。
 その秘密の方法とは、最初に10万円を払ってその方法の書いた情報をネットからダウンロードすることで知る事ができること。僕が「10万円も払えない」というと、「お年玉やお小遣いを貯金した通帳から引き出して来たらいい。僕たちもそうして、お金を準備して、今、こんなにも沢山買い物ができる。」と、言いながら最新の音楽端末やゲームソフトを沢山見せてくれた。僕が「勝手に10万円もお金を出してくるなんてできない」と言うとはC君が「大丈夫、すぐに儲かるから儲かったお金をまた通帳に戻しておけばよいだけだ」と言ってきた。それでも、「通帳はどこにあるのかわからない」というと、「お父さんかお母さんの財布に入っているクレジットカードのナンバーを控えてきたら、それで契約できる」と教えてくれた。そんなことをして怒られはしないかと心配して尋ねると、「絶対にばれないから大丈夫だ」と自信満々の様子で答えてきた。更に、「この話を友達に伝えて、その友達がこの情報を買えば、何もなくても本部から5000円がもらえる」とも言われた。C君やC君のお兄ちゃんからは、返事は明日までに聴かせてほしい事、誰にも話してはいけないと言われている。どうしたらよいのかわからない。



※p4cの方法論（詳しくはテキスト3頁参照）を想定した回答例

消費者問題を考える

年 組 番 氏名 []

事例

本実践で取り扱う消費者問題の題材について要点をメモします。
 (題材の例はテキスト11頁参照。
 この回答例では同頁のSF商法を事例として記述します。)

1 事例について問いを立てよう

立てた問い 例：なぜ消費者問題は起きるの？ どうしたら消費者問題は無くなるの？
 消費者問題は誰が生み出しているの？ 消費者問題にどう関わればいいのか？

その理由

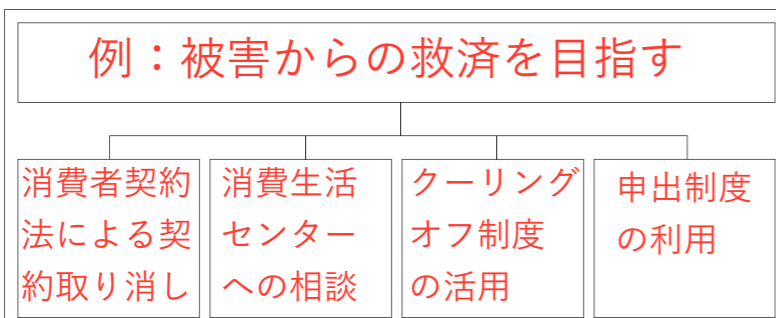
どのような問題意識に基づいて上の問いを立てたのか記述します。

2 みんなで話し合う問いを決めよう

例：消費者問題にどう関わればよいのだろうか

3 問いに対する考えをまとめよう

要約 例：祖父が受けた被害から救済するために行動する



例：祖父が望まない商品を買ってしまったって苦しんでいる、これは、法律に反しているから、返金を求めることができるはず。だから、相談窓口や各種制度の活用を検討する。

4 対話を通して気づいたことをメモしよう

例：・行動することは、怪しい企業を撲滅することにもつながる。
 ・放置してしまったら、次の被害者が出て、被害が拡大してしまう。
 ・自分が行動することは、社会を健全化することにもなる。

5 対話を終えた後の自分の考えをまとめよう

例：私は、この事例を見たとき、困っているおじいさんがかわいそうだから、おじいさんのためになんとかできないかという視点で考えていました。でも、対話をしていると、この問題はおじいさんだけの問題ではないということに気が付きました。また、おじいさんが被害を免れても、この業者が存在する限り、同じような思いをしてしまう消費者が出てくるということも感じました。

対話を終えて、問題を解決するために行動するという気持ちに変わりはないけれど、その理由は単に「自分に関わる被害からの救済」だけではなく、悪徳業者の撲滅などによる、「消費社会の健全化」もあると考えるようになりました。

自分の行動は、自分やその周辺だけでなく、社会全体に影響を与えるものであると思います。

6 あなたが考える「消費者」とは??

例：消費者とは、消費行動を通して、健全な社会を形成する人である。

消費者問題を考える

年 組 番 氏名 []

事例

1 事例について問いを立てよう

立てた問い

その理由

2 みんなで話し合う問いを決めよう

3 問いに対する考えをまとめよう

要約

4 対話を通して気づいたことをメモしよう

5 対話を終えた後の自分の考えをまとめよう

6 あなたが考える「消費者」とは??